

南三陸高校の魅力化を支援



9月4日(木)、株式会社エー・アール・シー様より企業版ふるさと納税のご寄附(100万円)をいただきました。株式会社エー・アール・シー様とは令和4年1月に南三陸高校と町の三者で「地域活性化に関する連携協定」を締結しており、今回で3回目のご寄附となります。南三陸高校では、オープンソース技術に関する認定講「Linux Professional Institute アカデミックパートナープログラム」が行われています。寄附金は高校の魅力化事業に活用させていただきます。

企業版ふるさと納税で 防災力向上へ



株式会社清建様より、企業版ふるさと納税として防災ラジオ125個(約100万円相当)のご寄附をいただきました。町では、安心・安全なまちづくりの一助として防災体制の充実に活用してまいります。9月16日には町役場で感謝状贈呈式を行い、小野寺憲幸社長をはじめ、おつなぎいただいた仙台銀行関係者の皆様にご出席いただきました。町民の安心を支える温かいご支援に、心より感謝申し上げます。



仙台商業高校が本町へ 震災復興寄附

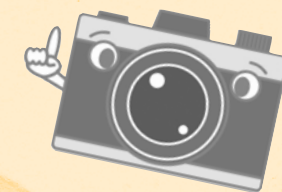
10月14日(火)、仙台商業高校商業情報部の皆さんが、商品開発による収益の一部を本町へ寄附するため来庁されました。同部はボランティア活動や地域に根ざした商品づくりを通じて震災復興に尽力されており、今回で14年連続のご寄附となります。長年にわたる温かいご支援に心より感謝申し上げます。

伊里前小学校生が能登半島へ寄附



8月に開催された歌津夏まつりにおいて出店した「うたつ夏まつり店」で、自分たちの手作りを販売した伊里前小学校4年生7名が、売上金の一部を能登半島地震の被災地支援に役立てたいと話し合い、10月14日(火)、子どもたちが南三陸町役場を訪れ、佐藤町長に寄附金を手渡しました。

温かい思いやりの心が込められたこの寄付金は、日本赤十字社を通じ現地に届けられます。



みな
レポ

百寿のお祝い 古澤孝夫さん(☎沼田東)



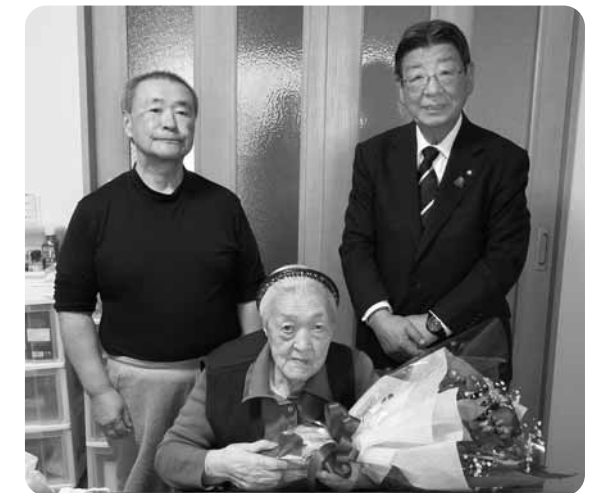
9月26日(金)に百寿を迎えた孝夫さんに、町からお祝い金と花束が贈られました。孝夫さんは、日記を書くことを日課としており、日記は昭和18年から毎日欠かさず書いているそうです。また、新しいことを覚えるのが得意で、パソコンやLINEのほか、最近ではChatGPTも使いこなすそうです。

ご長寿の秘訣は、人と話すことと、文字を書いて頭を使うことと言ひ、執筆から製本まで自身が手掛けた自分史を作成したり、趣味の川柳を新聞へ投稿するなど、好奇心旺盛な一面を見せていただきました。

お子さんが3人、お孫さんが6人、ひ孫さんも1人いらっしゃるそうで、ご家族もきつとご長寿を喜んでいることでしょう。

孝夫さん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

百寿のお祝い 佐藤ケイ子さん(☎中央)



10月20日(月)に百寿を迎えたケイ子さんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

入谷出身のケイ子さんは、7人兄弟の6番目として生まれ、若い頃は農作業や家業の商売を一生懸命お手伝いしたそうです。

日中はテレビを見て過ごすことが楽しみと話すケイ子さんに、ご長寿の秘訣を尋ねると、「何でも食べることだね」と言い、食事は好き嫌いなく食べられるようで、油っぽいものでもペロリと食べるところは、ご家族もビックリされておりました。

ケイ子さん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

健康で安心して暮らせるまちを目指して



9月26日(金)、株式会社バイタルネットと「健康増進に関する連携協定」を締結しました。町民の健康づくりや生活習慣病予防、感染症対策、がん対策などに連携して取り組みます。株式会社バイタルネットは東北を中心に医薬品流通やヘルスケア事業を展開しており、今後は健康イベントや啓発活動などを通じて町民の健康維持・増進を支援します。町は引き続き、誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくりを進めていきます。